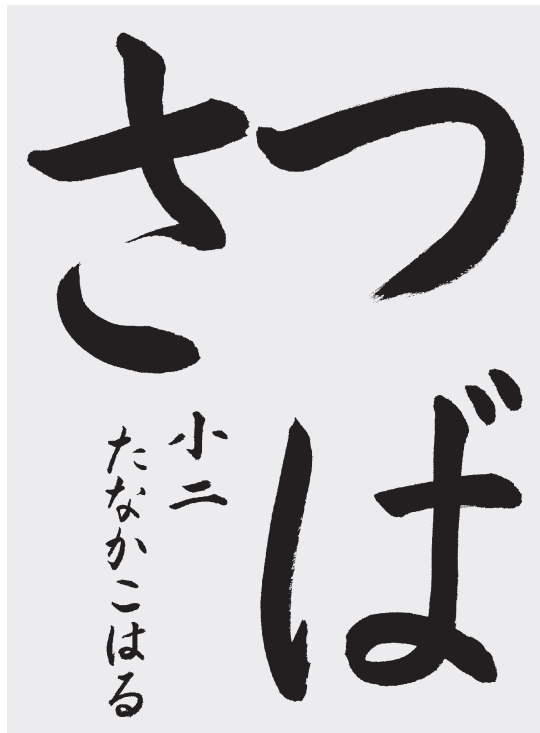
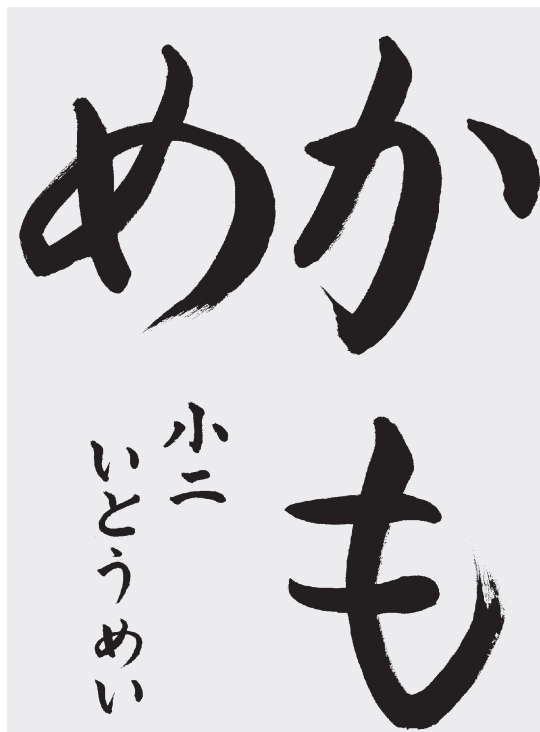


〔12月 6 日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。
(幼・小1の方は、学年を書かなくてもよい。)

小学 2 年 参 考 手 本



板 垣 洞 仙 先 生

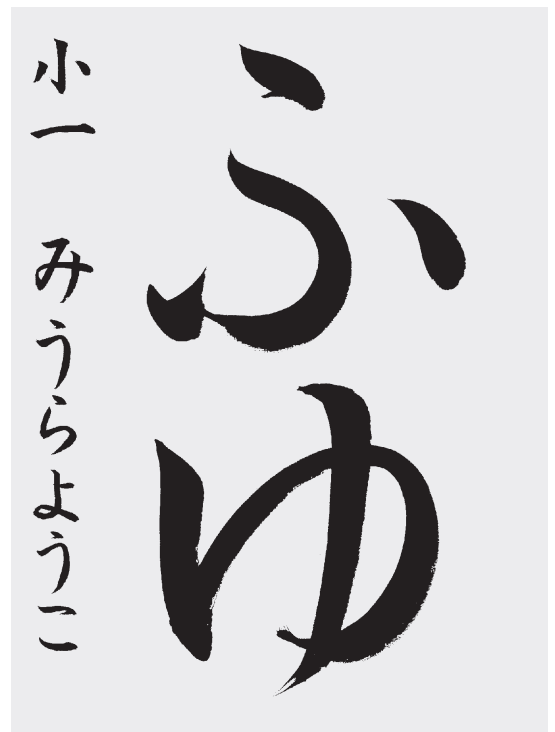


大 町 青 蓮 先 生

幼・小学 1 年 参 考 手 本



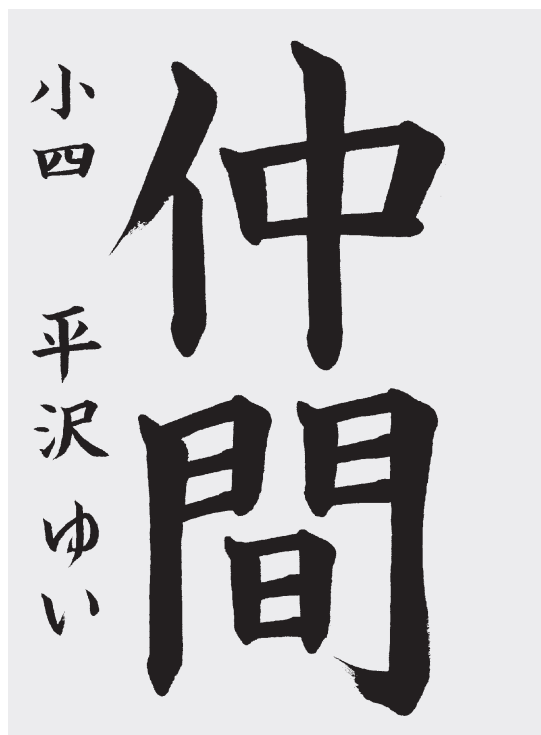
稲 垣 小 燕 先 生



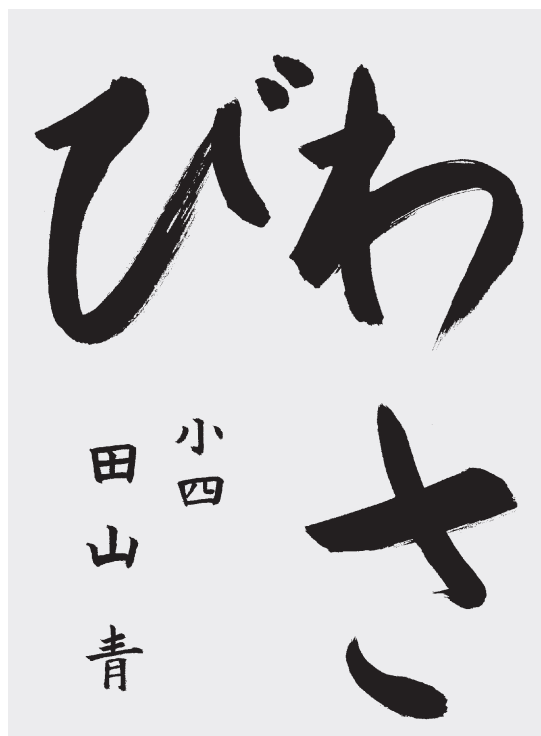
恒 次 鶴 城 先 生

〔12月 6 日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。

小学 4 年 参 考 手 本



工 藤 永 翠 先生



広 瀬 舟 雲 先生

小学 3 年 参 考 手 本



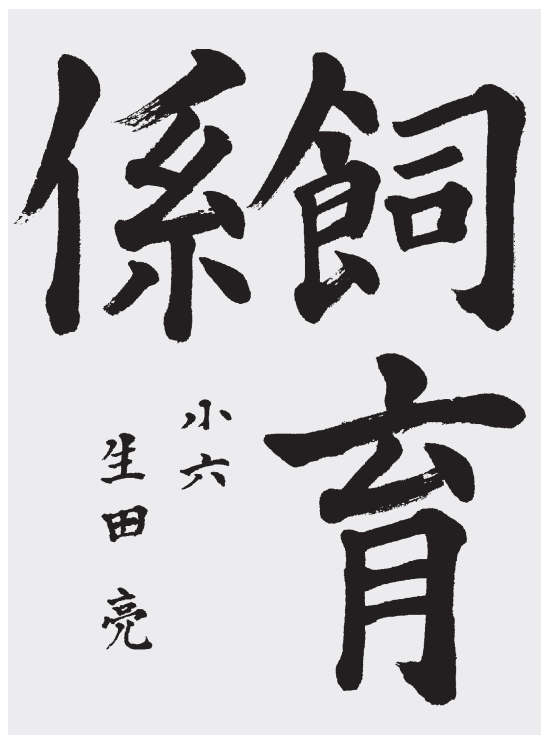
前 田 龍 雲 先生



山 崎 掃 雪 先生

〔12月 6 日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。

小学 6 年 参 考 手 本



最 首 翠 風 先 生

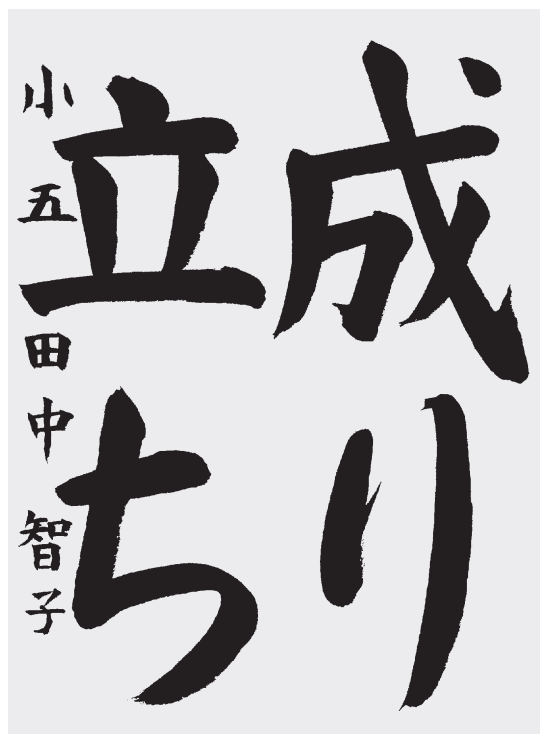


名 越 蒼 竹 先 生

小学 5 年 参 考 手 本



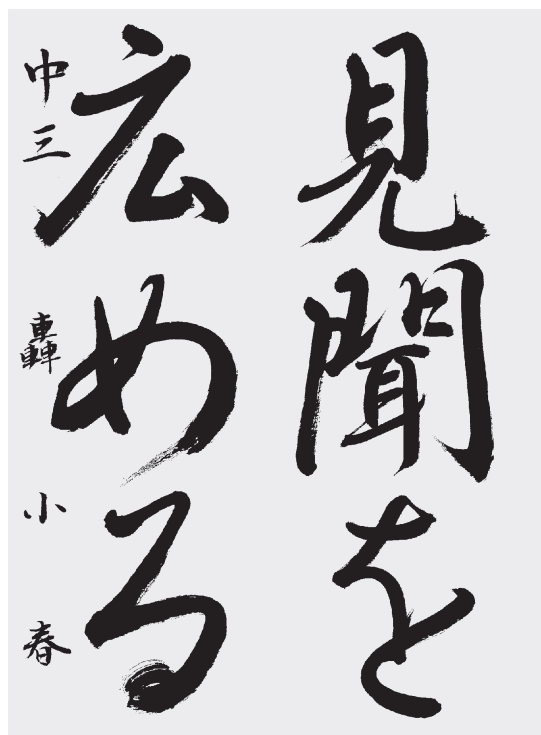
種 谷 萬 城 先 生



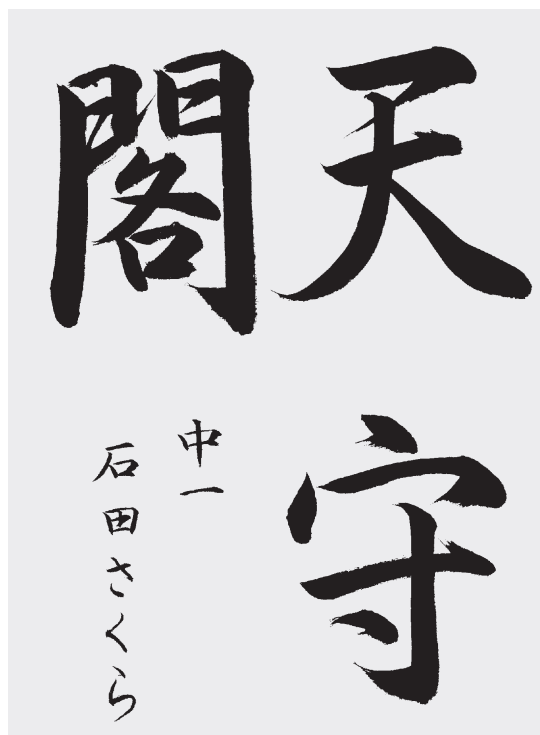
田 村 鄭 雲 先 生

〔12月 6 日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。

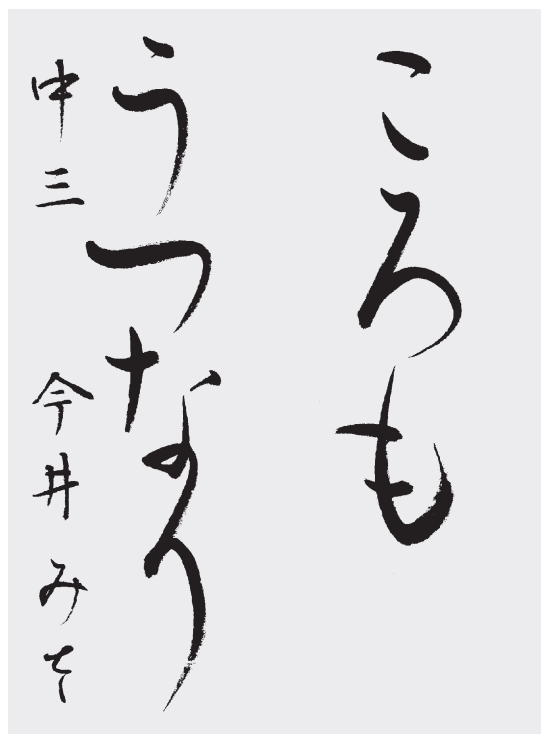
中学全学年参考手本（中学生は、どの課題を書いてもかまいません。）



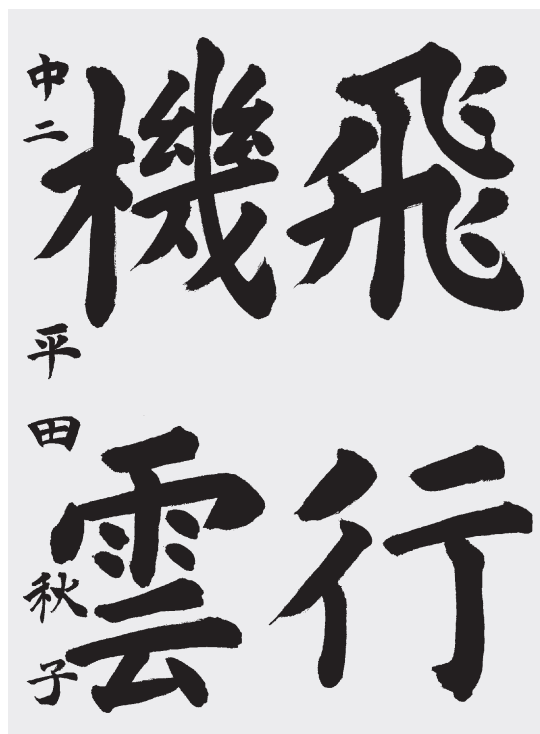
坂 本 素 雪 先 生



小 竹 石 雲 先 生



下 谷 洋 子 先 生



辻 元 大 雲 先 生

毛筆参考手本解説(1)

1年

中心
ま
あける
とめる
③ま
①②④
《ひつじゅん》
《じげん》
つながる気持ちで 幾幾ききき
《ひつじゅん》

中心
ふ
①ふ
②ふ
③ふ
④ふ
《ひつじゅん》
《じげん》
つながる気持ちで

中心
ゆ
はらう
《じげん》
不不ふ
由由ゆ

2年

中心
つば
つなげる
気持ちで
①つば
②つば
③つば
④つば
⑤つば
《ひつじゅん》
《じげん》
川川つ 波波はは
左左せき

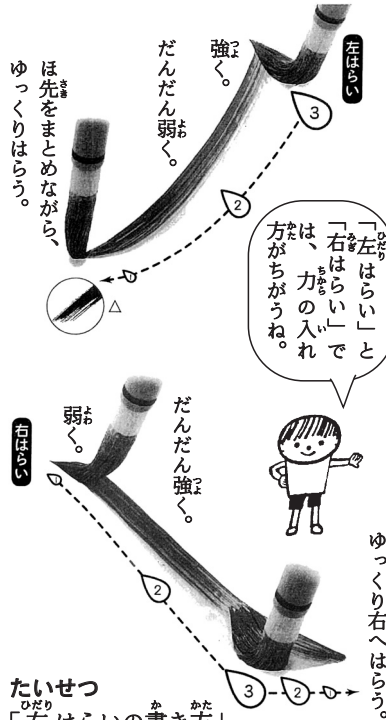
中心
か
はらう
①か
②か
③か
④か
⑤か
《ひつじゅん》
《じげん》
かかか 毛毛もも
女女めめ

3年

中心
り
はらう
とめる
②③④⑤
①か
《ひつじゅん》
《じげん》
つながる気持ちで
加加か 利利りり
広
《ひつじゅん》
《じげん》

中心
安
はらう
とめる
《ひつじゅん》
《じげん》
出で
一画目の始めを出して接する
全全
ノハ△今
《ひつじゅん》
《じけい》
安安
《ひつじゅん》
《じげん》

中心
金
はらう
とめる
《ひつじゅん》
《じげん》
一画目の始めを出して接する
全全
ノハ△今
《ひつじゅん》
《じけい》
安安
《ひつじゅん》
《じげん》



4年

中心
仲
出る
出る
《筆順》
ノイイ
和仲
《筆順》

中心
間
《筆順》
門間
《筆順》
《字源》
和和わ
《字源》
左左せき
《字源》
比比ひ

中心
さ
《字源》
比比ひ
《字源》
左左せき
《字源》
比比ひ

中心
び
《字源》
比比ひ
《字源》
左左せき
《字源》
比比ひ

たいせつ
「左はらいの書き方」
★だんだん力を弱めていき、さいごはほ先をまとめながら、ゆっくりはらう。
「右はらいの書き方」
★だんだん力を強めていき、一度筆を止めてから、ゆっくり右へはらう。

5年

中心
星
《字形》
等間隔に
《筆順》
星
《筆順》
不不ふ
留留るる
《筆順》
夜
《筆順》
成
《筆順》
立
《筆順》
知知ちち
《字源》

中心
夜
《筆順》
留留るる
《筆順》
不不ふ
《筆順》
星
《筆順》
不不ふ
留留るる
《筆順》
夜
《筆順》
成
《筆順》
立
《筆順》
知知ちち
《字源》

中心
成
《筆順》
立
《筆順》
知知ちち
《字源》

中心
立
《筆順》
知知ちち
《字源》

中心
ち
《筆順》
知知ちち
《字源》

毛筆参考手本解説(2)

6年

中学

声のび喜係育飼

等間隔 中心 最大幅 等間隔 中心

《筆順》 十 十 吉 吉 吉 声

《字源》 乃 乃 乃 の

《筆順》 十 十 吉 吉 直 喜

《字源》 比 比 比 比

《筆順》 イ イ 々 係 係

《字源》

《筆順》 一 十 云 育 育 育

《字源》

《筆順》 ハ ハ 含 食 飼 飼

《字源》

飛 行 機 雲 閣 天 守 見 聞 を 広 め る

中心 中心 中心

《筆順》 飛 飛 飛 飛

《許容》 飛 飛 飛 飛

《筆順》 行 行 行 行

《許容》 行 行 行 行

《筆順》 機 機 機 機

《許容》 機 機 機 機

《筆順》 雲 雲 雲 雲

《許容》 雲 雲 雲 雲

《筆順》 閣 閣 閣 閣

《許容》 閣 閣 閣 閣

《筆順》 天 天 天 天

《許容》 天 天 天 天

《筆順》 守 守 守 守

《許容》 守 守 守 守

《筆順》 見 見 見 見

《許容》 見 見 見 見

《筆順》 聞 を 聞 を

《許容》 聞 を 聞 を

《筆順》 広 め る 広 め る

《許容》 広 め る 広 め る

(楷書) (行書)

うつつなり

ころも

な

も

ろ

こ

う

つ

な

り

連続した線

① ② ③

《筆順》

《現代語訳》

奈良の吉野の山に秋風が吹きわたる。夜がふけて(吉野という)かつての都は寒々となびしく衣を砧で叩く音が響いている。

《ことば》

み吉野の「み」や「さ」はさ夜ふけて 接頭語

つながる気持ちで

《筆順》

《作者》

参議雅経

《現代語訳》

奈良の吉野の山に秋風が吹きわたる。夜がふけて(吉野という)かつての都は寒々となびしく衣を砧で叩く音が響いている。

《ことば》

み吉野の「み」や「さ」はさ夜ふけて 接頭語

つながる気持ちで

《筆順》

《作者》

参議雅経

ひらかなの字源

(349)

り	な	つ	う	も	ろ	こ	源字	字形
利	奈	川	宇	毛	呂	己	源字	字形
あり	なる	川	宇	毛	呂	己	源字	字形

※源字については、異字体から変遷したものに*印を付して()にその字体を記した。

※字形は古筆から抽出した。上段には源字に近い草仮名を配し、中・下段にはその変遷過程等を配した。

書写教育
全国大学書写書道教育学会編より転載

〔12月 6 日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。

小 学 4 年

小 学 3 年

支 部 名	物	葉	
	に	に	作
段・級	注	気	品
	目	を	の
学 年	し	つ	中
	て	け	の
名 前	読	、	大
	もう	登	事
	。	場	な
		人	言

支 部 名	書	
	いた	漢
段・級	本	字
	を	の
学 年	読	な
	んだ	り
名 前	。	立
		ち
		を



土(つちへん)を小さく
ななめ分間の方向をそろえて



マ(はつがしら)の(筆順)
フ タ マ バ マ

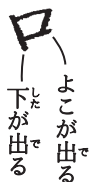


中心
長く
横画の長さと同間に注意

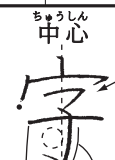
『登場人物』
中心線や「へんやつくり」「かんむりとあし」に気をつけて形を整えましょう。



まがり



よこが出る
下が出る



少しそる (中心にもどる)
長く



右はらいのせし方

『漢字の成り立ち』
「漢」の字形をよこ分間をととのえて書きましよう。

〔12月 6 日締切課題〕

作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。

小学 6 年

支 部 名									
段 ・ 級									
学 年									
六									
名 前									
杉村彩七									

小学 5 年

[illegible]

幕

七つの横分間に気をつけよう

接し方に注意
（十画目の右はらいは八画目の横画の上に出る）

包

おれ
まがり
《筆順》
ノ ノ 勾 勾 包

接し方に注意

海

はねる
《筆順》
シ シ 汨 汨 海 海 海

漢字の分間や「へんとつくり」の大小に
気をつけて字形を整えましょう。

中心

 とめ
 〈筆順〉
 一 十 士 士 土 売 売
 曲がり
 上部を小さくする

中心

 〈筆順〉
 イ イ 往 往 街 街
 ○のところ余白

中心

 〈筆順〉
 一 ヲ 商 商 商 商 商
 縦画は内側に向ける
 曲がり

『大売り出し』
漢字・カタカナ・ひらがなの文字の大きさに
注意して書きましょう。

〔12月 6 日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。

中 学 生 (行 書)

中 学 生 (楷 書)

※書写用具は、えんぴつ、フェルトペン、ボールペン。筆ペンは不可。

支 部 名	
段 ・ 級	
学 年	中三
名 前	長谷川 蓮

ろな人や文化に触れています。
て世界を回り、外国のいろい
今や彼は一流の音楽家とし

支 部 名	
段 ・ 級	
学 年	中三
名 前	長谷川 蓮

ろな人や文化に触れています。
て世界を回り、外国のいろい
今や彼は一流の音楽家とし

(行書) 音楽家
終筆の変化
曲線的

(楷书) 音楽家
直線的

・行書のワンポイントアドバイス
「音楽家」の楷书と行書を並べました。比べて、特徴をとらえましょう。

中心
触
《筆順》
々 角 角 角 触 触 触

中心
家
とめる
《筆順》
ハ ハ ハ 家 家

彼は一流の音楽家

『音楽家』
漢字は大きく、かなは少し小さく書いてみよう。

これからの作品締切日と課題

令和3年1月号～3月号までの作品締切日と毛筆課題

中学生 (全学年共通)		小6	小5	小4	小3	小2	幼・小1	締切日	
破竹の勢い	剛健	私の決意	百人一首	生きる力	うし年	おせち	ね	1月7日	1月
ふじのたかねに	晴耕雨読	豊かな夢	理想	初春	自由	牛	もち		
美しい梅林	観測	常識	栄光	発表	よろこび	ゆびわ	せ	2月7日	2月
ゆきはふりつつ	横断歩道	世界旅行	文庫	点画	図工	ポスト	やま		
不断の努力	古今集	希望の春	約束	お手伝い	花だん	きずな	む	3月8日	3月
菜の花や月は東に日は西に	平家納経	平和運動	周囲	美しい花	作文	ビデオ	てん		

1月号の硬筆課題

※硬筆課題は、翌月課題のみ掲載しております。

幼・小1

も	空
つ	は
づ	ど
き	こ
ま	ま
す	で
。	

小2

ね	これ
が	は、
鳴	大
る	き
音	な
で	か
す	
。	

小3

一	こ
面	こ
の	は
銀	北
世	国
界	、
で	冬
す	は
。	

小4

が	の	新
の	生	聞
っ	活	に
て	に	は
い	関	、
た	係	自
。	の	分
	あ	た
	る	ち
	事	

小5

て	音	月
話	楽	曜
し	会	日
合	の	の
い	出	五
ま	し	時
し	物	間
た	に	目
。	つ	い

小6

を	へ	昨
観	行	日
戦	き	、
し	サ	電
ま	ッ	車
し	カ	で
た	ー	競
。	の	技
	試	場
	合	

中学生

資格試験があります。	看護師は、医師の仕事を手伝い、病人やけが人の世話をする職業で、
------------	---------------------------------



書写を知り 学び楽しむ



広瀬舟雲先生

講師の広瀬舟雲先生は、武蔵野大学教育学部教育学科・教授、全国大学書写書道教育学会副理事長、書道芸術院展常任総務です。著書に「刻された書と石の記憶」、共著に「国語科書写の理論と実践」などがあります。

第45回 Zoomによるオンライン授業・書塾編2

今や東京の街を歩く人々は、大部分の人がマスクをしつつも、しだいに、いつもの混雑に戻りつつあるようです。しかしその一方で、新型コロナウイルスによる影響が様々な場面で発生しています。カルチャーセンターはいわゆる経済優先か、緊急事態宣言解除後は、休みとなることはありません。しかし近隣の神社参集殿をお借りしての書道教室の方は影響多々です。令和二年となって教室が開講できなかったのが、緊急事態宣言前後の4・5・6月、つぎは、第二次感染拡大の8月。秋からの再開をじっと辛抱して待っていました。秋からの毎年盛大な例大祭（秋祭）も露店設営の自粛にはじまり、神事自体もささやかに行うとの方針が示され、宮司さんより十月以後、コロナ感染症が落ち着くまで参集殿の使用自粛の要請がありました。神社から絶対にクラスターを出さないようにするためとのことです。これから次第に寒くなってくるとインフルエンザの流行も同時に心配されるので少なくとも今年度いっぱい（来年三月まで）再開は無理？という事態となりました。稽古場をお借りできない以上、従来の対面型のお稽古はしばらくできません。このままでは、この教室は消滅してしまう恐れを感じたので、十月から、Zoomの撮影機能のみを活用して撮影したお手本揮毫風景の動画を受講生のアドレスに配信しつつ通信による添削を行い、この期間を乗り切ることとしました。さっそく私が競書課題を半紙に揮毫している動画を受講生に配信しましたら、①教室でじっとみているのと同じ。②好きな時

に何回も見ることができ。③腕や筆先の動きがよく見える。と意外にも好評でうれしく思いました。初めてだったので珍しかったのかもかもしれません。

これに先立ち、今述べたことと真逆なのですが、大学院生のみ、やっと大学での対面授業が許可されたので、院生に手伝ってもらい、パソコン用の外付けカメラ（ウェブカメラ）で書写書道の動画撮影をしました。すべて一人で撮影するとカメラは三脚等で固定せねばならないので、単純な一方向のみからの映像になってしまいましたが、一人がウェブカメラを持っての撮影担当、もう一人がパソコンのスイッチ等の機器操作担当、そして私が監督兼揮毫者として合計三名で撮影実験してみると、意外に面白いものができることが判りました。この紙面ではお見せできなくて残念ですが、緊張しつつ揮毫風景を撮影、できたものを再生し眺めてみました。自分で自分の揮毫している姿を映像で見るのはとても恥ずかしい感じがします。すらすらと書けたような気がしましたが、最終画と最後に筆をおくところが今一步でした。この映像が多くの方々に見本として見せるものでしたら何回も撮り直して完璧なものにする必要があります。しかし、門下生への配信用としては、肝心な要点さえうまくいっていれば、むしろ自然体でよいと考えます。これは揮毫者（先生）自身の揮毫姿勢の振り返り（反省）にもなり一挙両得といえます。動画の撮影だけでしたら、スマホの方が簡単です。

（つづく）

今月のホープ



中三 渡辺 松 (房州支部)

ていねいで細やかな気配りの作。全体のバランスや、筆運びのリズムなど見事です。名前もよく調和しています。



小三 柳田 栞良 (翠支部)

点画がしっかりしたスケールの大きな作品です。字形のバランスがとても良くこれからも頑張してほしいです。

支団名	独	し	
姓・名	登	い	エ
学年	頂	道	ベ
氏名	に	す	ス
六	い	じ	ト
武居康介	ど	を	の
	ん	選	最
	だ	び	も
			険
		単	

小六 武居 康介 (精華支部)

静かに落ち着き迷いのない運筆はすっきりと、美しい作品へと導いております。見事です。

支団名	館	上	待
姓・名	の	野	ち
学年	入	駅	合
氏名	り	では	わ
四	口	なく	せ
星野成希	です		場
		博	所
		物	は

小四 星野 成希 (白琉支部)

一字一字が力強く、丁寧な作品です。名前まで一貫したリズムで書き素晴らしいです。

幼・1年

ね
みうらまい

もち
小一 まつたりこ

2年

ちおせ
小二 白井ゆき

牛
小二 川田ゆう

3年

うし
年
小三 森ゆき

自由
小三 仙石珠希

4年

初春
小四 森俊

生き
る
小四 松下こころ

5年

百人一首
小五 川合真

理想
小五 千葉陽子

6年

私決意の
小六 田中太郎

豊か
な夢
小六 佐藤優

中学

破竹の
勢い
中二 山本一男

剛健
中一 三浦洋子

晴耕
雨読
中二 山口祐三

ふじの
たかねに
中三 松井ゆり

編集余録

○9月28日、富士山の初冠雪が発表されました。昨年より24日早い観測とのことです。日に日に秋が深まっていくのを感じます。

○先日、秋の昇段級試験の審査が行われました。春は新型コロナウイルスの影響で受験できない方がいらっしやいました。春に比べて受験者数増となりました。ありがとうございます。ごさいました。審査の先生方は一点一点丁寧に審査してくださいました。「上手に書けている」という声を耳にいたしました。日々の努力が結果に繋がります。本文、名前共にしっかりと書けるように練習してください。硬筆作品の中に筆ペンで書かれたものが数点ありました。筆ペンは硬筆用具として不可です。ご注意ください。

○朝晩、肌寒くなってきました。風邪をひかないようにしてください。そして引き続きコロナ対策としてマスクの着用、うがい、手洗い、指先の消毒を続けてください。

○12月は締め切り日が早くなり12月6日（日）となります。よろしくお願いいたします。

（菜園）